

令和6年4月11日

理学系研究科附属植物園 2022年度（繰り越し分）実施報告

実施概要

2022年度の助成金の2023年度繰り越し分から、小石川本園の研究温室の改修をはじめとする研究・教育環境の整備、および小石川本園と日光分園のホームページのリニューアルを行った。

○研究温室改修

研究温室は、一般に公開されている公開温室のバックヤードにあたる施設であり、多くの研究用植物や絶滅危惧植物の系統保存株などの管理に使われている。

2022年度は12号室の3部屋を改修したが、2023年度は8～11号室と12号室の残りのモーターや制御盤の交換を行った。研究温室では、天窓や引き戸が老朽化により自動開閉できない状況にあり、換気が行われていなかったが、この度モーター、チェーンおよび制御盤を交換したことにより、夏の暑い日が続いても室内の温度を安定的に管理できるようになった。

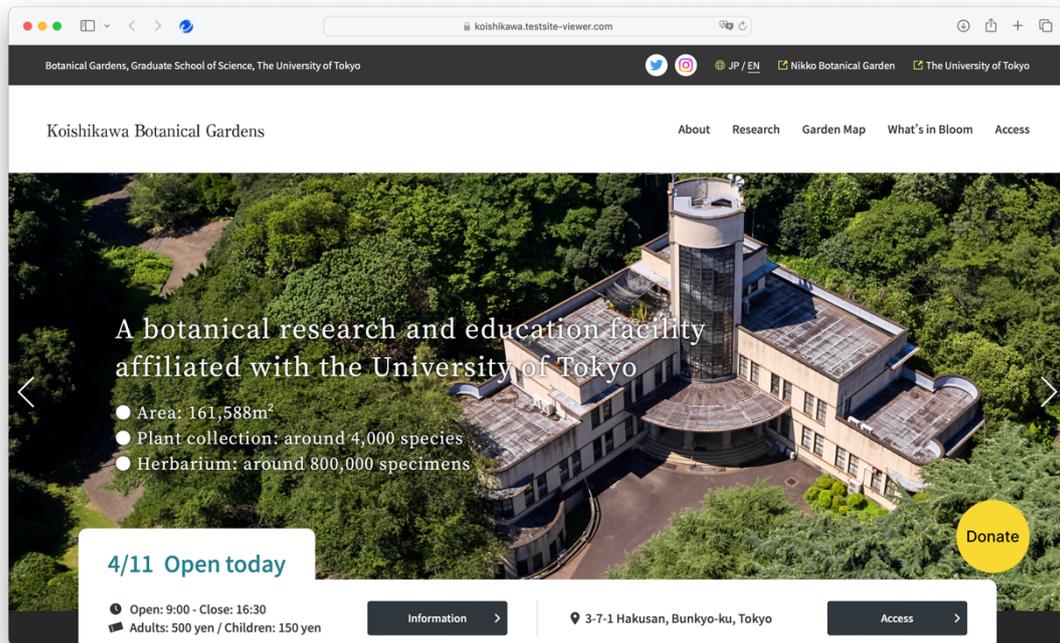
上記の改修により、小石川本園でさかんに研究されているキョウチクトウ科（サクララン属など）、サトイモ科、コミカンソウ科、リンドウ科、コケシノブ科など、より多くの植物をより良い状態で研究温室内で管理できるようになり、花の匂いの化学分析、形態解析、花の色の分光光度計測などを行うことができた。また、環境省の委託を受けて小石川本園で進めている、小笠原諸島の希少野生植物の系統保存株の栽培環境を大きく改善することができた。

○ホームページリニューアル

2022年度に実施した小石川本園のホームページリニューアルにより、開園状況や開花状況など来園者にとって必要な情報が一目で分かるようになり、さらに管理者側にとっても管理しやすいページとなった。さらに、季節ごとのドローン動画を掲載したことで、植物園の四季を視覚的に楽しめる構成となった。

2023年度はリニューアルされた小石川本園ページの全面的な英語化と、日光分園ホームページのリニューアルを実施した（新ページは2024年度に公開予定）。ホームページの英語化による植物園の国際化や、日光植物園の魅力をアピールすることによる

来園者増や植物学のさらなる普及の実現が期待される。



公開準備中の小石川本園の英語版ホームページ

支出内訳

	金額（千円）
助成金額（2022年度当初）	20,000
2023年度繰越額	11,970
支出費目	
研究温室改修等整備費	6,522
ホームページ修正・改修費	4,308
消耗品費	1,140

実施メンバー

川北篤（園長・教授）、館野正樹（分園長・准教授）、望月昂（助教）、樋口裕美子（助教）、Diego Tavares Vasques（特任助教）、小牧義輝（育成部主任・技術専門職員）、出野貴仁（技術専門職員）、竹中桂子（技術専門職員）、澤上航一郎（職域限定技術員）、鹿野研史（特任専門員）、下田浩美（アドバイザー）、幸路英吉（事務室・副課長）、寺岡仁（事務室・係長）